静鉄ニュースリリース
NEWS RELEASE
静岡鉄道

平成２４年１月１７日

記者クラブ 各位

静岡市葵区鷹匠一丁目１番１号
静 岡 鉄 道 株 式 会 社

静岡鉄道の「住まいの防災力強化プロジェクト」
早稲田大学・横山教授を招聘し、産学連携による商品開発を図る！

平素は、弊社各種事業に関しまして格段のご配慮を賜り、誠にありがとうございます。

昨年 12 月に発表しましたとおり、静岡鉄道株式会社（本社：静岡市葵区鷹匠、取締役社長:酒井公夫）では、今後計画していきます分譲地や分譲マンション開発において、「防災」という新しい基軸を核に据え、これからの街づくり・住まいづくりのあり方を提案してまいります。

この「住まいの防災力強化プロジェクト」への取り組みにおいては、学術的な観点からの検証も必要と考え、早稲田大学理工学術院・環境総合研究センターの横山隆一教授をプロジェクトアドバイザーに迎え、共同研究による住まいへの提言をしていきます。

横山教授は、環境保全を目的としたエネルギーシステムの構築を専門的に研究され、電気学会 電力・エネルギー部門の部門長や、通商産業省、経済産業省の専門委員会の委員長を務めるなど、幅広い活躍をされています。（横山教授プロフィールは別紙）

横山教授には、「防災を考えた街づくり・住まいづくり」や「地域社会や自治体との災害時の共生」などについて共同研究していただき、「防災」や「ＥＣＯ」をコンセプトとした住宅や分譲地の商品開発へ反映していきます。

なお、平成 24 年度に販売を予定しております静岡市葵区西千代田町「防災スマートタウン」、ＪＲ東静岡駅北口「防災力強化型・超高層免震マンション」におきましても、横山教授との共同研究による検証をもとに、より防災力を強化した住まいの開発を目指していきます。

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします	
不動産営業部 □販売推進課 ：瀧田（たきだ） □直通電話 ：（０５４）２５５－８５５６ □Ｆ Ａ Ｘ ：（０５４）２５５－８７７２	総務部 □総 務 課 ： 藁科（わらしな）、望月（もちづき） □直通電話 ：（０５４）２５４－５１１４ □Ｆ Ａ Ｘ ：（０５４）２５５－８８１６

【ご参考資料】

「防災力を強化した」住まいとは…

■分譲地「防災スマートタウン」（静岡市葵区西千代田町）

分譲地では、災害を克服し、入居者と分譲地の安全を確保する「自立型防災タウン」に、エネルギーを賢く使い、快適で環境にやさしい暮らしを実現する「スマートタウン」の機能も兼ね備えた「防災スマートタウン」をめざします。

このモデルとして、静岡市葵区西千代田町に約 20 区画の戸建て分譲地を計画しております。県内初の本格的な防災力強化型、かつ創エネ・蓄エネ・省エネを取り入れた西千代田町「防災スマートタウン」は平成 24 年度に分譲を予定しています。

【西千代田町「防災スマートタウン」で計画している主な防災対策など】

〇地震時の被害を大きく軽減する「免震装置」・「制震装置」の設定（各戸）
〇防災用井戸、マンホールトイレ、防災かまどベンチ（公共空地）
〇太陽光発電システム、家庭用燃料電池、家庭用蓄電装置（各戸）
〇ホーム・エネルギー・マネジメント・システム<HEMS>（各戸）
〇電気自動車（EV）用充電設備（各戸）

■分譲マンション「防災力強化型」（JR 東静岡駅北口）

分譲マンションでは、災害時だけでなく、災害によりライフラインなどが停止した場合にも備え、災害後も安全・安心に住み続けられるような「防災力強化型マンション」をめざします。

このモデルとして、JR東静岡駅北口（徒歩 1 分）に総戸数 190 戸、地上 28 階建ての超高層免震タワーマンションを計画しており、「災害時、災害後にも生活を継続できる」県内初となる本格的な防災力強化型のマンションが誕生いたします。JR東静岡駅北口「防災力強化型・超高層免震マンション」は平成 24 年度に分譲を予定しています。

【JR東静岡駅北口「防災力強化型・超高層免震マンション」で計画している主な防災対策など】

〇地震時の被害を大きく軽減する「免震構造」
〇停電時にも共用部への給水やエレベーターが使用できる「自家発電装置」
〇通信機器の電源を確保する「ソーラー蓄電池」、「ソーラー発電LED外灯」
〇飲用水や簡易トイレなどを保管する「備蓄倉庫」（各階）、
〇救急用具や生活・避難用具などを保管する「防災倉庫」（下層階）
〇防災用共用水栓（各階）
〇被災時には生活用水として使用できる「雨水貯留槽」
〇マンホールトイレ、防災かまどベンチ
〇長期にわたり良好な状態で使用できる「長期優良住宅認定」
〇次世代省エネルギー基準の採用
〇電気自動車（EV）用充電設備